

安全データシート (SDS)

整理番号：T A J - N - 0 2

管理番号：A J - 0 2 - 1 7

制定 2001年01月24日

改訂 2019年10月01日

1. 製品及び会社情報

会社名 : タキロンシーアイ株式会社 住設建材事業部
住所 : 〒108-6031 東京都港区 2-15-1(品川インターシティA棟)
電話番号 : 03-6711-3722 F A X 番号 : 03-6711-3741
緊急連絡先電話番号 : 079-322-4811 (タキロンテック株 技術部)

製品名 : タキボンド 500

2. 危険有害性の要約

【GHS分類】

〈物理化学的危険性〉

引火性液体 区分2

〈健康に対する有害性〉

急性毒性(吸入：蒸気) 区分4

皮膚刺激/腐食性 区分2

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 区分2 A

皮膚感作性 区分1

生殖細胞変異原性 区分2

発がん性 区分2

生殖毒性 区分1

授乳に対する又は授乳を介した影響 追加区分

特定標的臓器毒性(単回ばく露) 区分1 呼吸器、中枢神経系

区分3 気道刺激性、麻酔作用

特定標的臓器毒性(反復ばく露) 区分1 中枢神経系、骨、腎臓、神経系

〈環境に対する有害性〉

水生環境有害性(急性) 区分3

※記載のない項目については、区分外、分類できない、または分類対象外のいずれかです。

【GHSラベル要素】

絵表示：



注意喚起語：危険

【危険有害性情報】 引火性の高い液体及び蒸気

吸入すると有害 (気体、蒸気、粉じん及びミスト)

皮膚刺激

強い眼刺激

アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ
遺伝性疾患のおそれの疑い
発がんのおそれの疑い
生殖能または胎児への悪影響のおそれ
授乳中の子に害を及ぼすおそれ
臓器の障害（呼吸器、中枢神経系）
呼吸器への刺激のおそれ
眠気又はめまいのおそれ
長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害
（中枢神経系、骨、腎臓、神経系）
水生生物に有害

【注意書き】

安全対策：

使用前に取扱説明書を手に入ること。
全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
熱／火花／裸火／高温のもののような着火源から遠ざけること。一禁煙
容器を密閉しておくこと。
容器を接地すること／アースをとること。
防爆型の電気機器／換気装置／照明機器を使用すること。
火花を発生させない工具を使用すること。
静電気放電に対する予防措置を講ずること。
粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーを吸入しないこと。
妊娠中／授乳期中は接触を避けること。
取り扱い後はよく手を洗うこと。
この製品を使用するとき、飲食又は喫煙をしないこと。
屋外または換気の良い場所でのみ使用すること。
汚染された作業衣は作業場から出さないこと。
環境への放出を避けること。
保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を着用すること。

応急措置：

皮膚（または髪）に付着した場合

：直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。

皮膚を多量の流水／シャワーと石鹼で洗うこと。

吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。

次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合には外すこと。

その後も洗浄を続けること。

ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師の診断／手当てを受けること。

気分が悪いときは医師に連絡すること。

気分が悪いときは、医師の診断／手当てを受けること。

特別な処置が必要である。（このラベルまたはSDSの成分情報を見よ。）

皮膚刺激又は発疹が生じた場合：医師の診断／手当てを受けること。

眼の刺激が続く場合：医師の診断／手当てを受けること。

汚染された衣類を再使用する場合には洗濯すること。

火災の場合：消火するために粉末／泡／炭酸ガスを使用すること。

保管： 換気の良い場所で保管すること。涼しいところに置くこと。
施錠して保管すること。容器を密閉しておくこと。

廃棄： 内容物／容器を関連条約／法規／条例に従って適切に廃棄すること。

3. 組成及び成分情報

単一製品・混合物の区別： 混合物
化学名（又は一般名）： 塩化ビニル樹脂系接着剤
成分：

成分名	含有量	CASNo.	化審法No.	P R T R
塩化ビニル-酢酸ビニル共重合物	20～30%	9003-22-9	(6) -76	
シクロヘキサノン	40～50%	108-94-1	(3) -2376	
メチルイソブチルケトン	15～25%	108-10-1	(2) -542	
トルエン	5～15%	108-88-3	(3) -2	1-300
シリカ*（非結晶）	0.1～10%	112945-52-5	(1) -548	

(*当社判定基準によるナノマテリアルを含む)

4. 応急措置

吸入した場合： 被災者を直ちに空気の新鮮な場所に移動させる。
暖かくして呼吸しやすい姿勢で休息させる。
吐き気等の自覚症状がある場合は、直ちに医師の診断を受ける。

皮膚に付着した場合： 汚染された衣類をすべて直ちに脱ぐ。
流水と中性石鹼でよく洗い落とす。
皮膚の刺激や湿疹または、炎症の兆候が認められる場合は医師の治療を受ける。

眼に入った場合： 直ちにきれいな流水で15分以上洗眼した後速やかに眼科医の手当てを受ける。洗眼の際、眼瞼を指でよく開いて眼瞼、眼球のすみずみまで水がいきわたるように洗う。コンタクトレンズを使用している場合は、固着していないかぎり取り外して洗浄を続ける。

飲み込んだ場合： 直ちに医療処置を受ける手配をする。
無理に嘔吐させてはならない。
嘔吐が生じる場合は気道を確保する為に、うつぶせにするか、または、左側を下にして寝かせる。
口をすすぐ。
意識のないまたは、意識消失になりそうな被災者には口から何も与えてはならない。

5. 火災時の措置

消火剤： 粉末、泡、二酸化炭素(炭酸ガス)、乾燥砂を使用する。
散水または噴霧水は大規模な火災の場合のみ利用。

特有の危険有害性： 本製品とその蒸気は引火性である。
熱、炎、酸化剤にばく露した場合、激しい火災の危険がある。
蒸気は、点火源まで相当な距離があっても引火するおそれがある。
加熱されると、膨張、分解により、容器が激しく破裂するおそれがある。
燃焼すると、一酸化炭素等の有毒ガスを発生させる可能性がある。

- 特有の消火方法 : 火災発生周辺への関係者以外の立ち入りを禁止する。
消火作業の際には必ず呼吸用保護具と防護用衣類を着用する。
初期の火災には、粉末、二酸化炭素(炭酸ガス)、乾噪砂を用いる。
液体状の露出したものに水を噴霧しない。
過熱された容器に接近しない。
大規模火災の際には、泡消火剤などを用いて空気を遮断することが有効である。
- 消火を行う者の保護 : 保護具(呼吸用保護具、化学防護服、手袋、長靴、眼鏡、マスク等)を着用し、風上から作業を行う。(吸入や直接接触を避ける。)

6. 漏出時の措置

- 人体に対する注意事項、保護具及び緊急措置 :
暴露防止のため、保護具を着用して作業を行い、蒸気の吸入や皮膚への接触を防止する。漏出した場所周辺への関係者以外の立ち入りを禁止する。
付近の着火源を取り除き、消火機材を準備する。
- 環境に対する注意事項 : 地下浸透及び河川、下水道等公共水域への流入を防止する。
- 封じ込め及び浄化方法および機材 :
少量の場合は、乾燥砂、ウエス等に吸収させて密閉可能な空容器に回収し、残りは拭き取る。
大量の場合は、盛り土で囲って流出を防止し、安全を確保した後に回収する。

7. 取扱い及び保管上の注意

- 取扱い : 設備の密閉化、局所排気装置の設置等通気の良い場所にて取り扱う。
保護眼鏡、防毒マスク、不浸透性手袋等の保護具を着用する。
火気、静電気、衝撃火花等の着火源が生じないように注意する。
漏れ、あふれ、飛散等がないように注意して取り扱う。
取扱い後は、うがい、手洗い、洗顔を充分に行う。
- 保管 : 高温または高湿を避け、適切な換気のある乾燥した冷暗所に密栓して保管する。
消防法、労働安全衛生法等、関係法例の定めるところに従う。

8. ばく露防止及び保護措置

- 管理濃度 : 製品としては設定されていない。
- | | |
|--------------|-------|
| ・シクロヘキサノン | 20ppm |
| ・メチルイソブチルケトン | 20ppm |
| ・トルエン | 20ppm |
- 許容濃度 : 製品としては設定されていない。
- | | |
|--------------|-------|
| 日本産業衛生学会 | |
| ・シクロヘキサノン | 25ppm |
| ・メチルイソブチルケトン | 50ppm |
| ・トルエン | 50ppm |
- ACGIH (TLV-TWA)

・シクロヘキサノン	20ppm
・メチルイソブチルケトン	20ppm
・トルエン	20ppm

設備対策： 取り扱い設備は防爆型を使用する。
蒸気の発生源を密閉する設備または局所排気装置を設置する。

保護具：

呼吸器の保護具：	有機ガス用防毒マスク、送気マスク
手の保護具：	不浸透性手袋
目の保護具：	側板付き普通眼鏡型又はゴーグル型保護眼鏡
皮膚及び身体の保護具：	長袖作業服、不浸透性前掛け、腕カバー、長靴
衛生対策：	作業場所付近に洗眼、身体洗浄設備を設置する。

9. 物理的及び化学的性質

外観	透明ペースト状		
臭い	有機溶剤臭		
pH	該当せず		
融点	製品としてはデータなし		
沸点	製品としてはデータなし		
	・シクロヘキサノン	155.7℃	
	・メチルイソブチルケトン	116.2℃	
	・トルエン	110.6℃	
引火点	4℃		
爆発範囲	製品としてはデータなし		
	・シクロヘキサノン	1.1vol% (下限)	9.4vol% (上限)
	・メチルイソブチルケトン	1.4vol% (下限)	7.5vol% (上限)
	・トルエン	1.1vol% (下限)	7.1vol% (上限)
蒸気圧	製品としてはデータなし		
	・シクロヘキサノン	0.46kPa (20℃)	
	・メチルイソブチルケトン	2.1 kPa (21℃)	
	・トルエン	4.0 kPa (26℃)	
蒸気密度	製品としてはデータなし		
	・シクロヘキサノン	3.38	
	・メチルイソブチルケトン	3.45	
	・トルエン	3.18	(空気=1)
溶解度	(水) 実質的に不溶 (有機溶剤) 多くの有機溶剤に可溶		
比重	0.97±0.02 (25℃)		
n-オクタール/水分係数	製品としてはデータなし		
自然発火温度	製品としてはデータなし		
	・シクロヘキサノン	420℃	
	・メチルイソブチルケトン	457℃	
	・トルエン	480℃	
分解温度	製品としてはデータなし		

10. 安定性及び反応性

安定性：	通常の取扱いにおいては安定。
危険有害反応可能性：	強酸、強アルカリ、強酸化剤、還元剤、アミン類と反応する。
避けるべき条件：	加熱、着火源、静電気、スパーク（蒸気は空気と混合すると爆発性混合ガスになる）
避けるべき材料：	強酸、強アルカリ、強酸化剤、還元剤、アミン類
危険有害な分解生成物：	分解性ガス（一酸化炭素、アルデヒド類）など

11. 有害性情報

急性毒性：	GHS分類に該当する物質を含む(別表記載)
皮膚腐食性・刺激性：	GHS分類に該当する物質を含む(別表記載)
眼に対する重篤な：	
損傷・刺激性：	GHS分類に該当する物質を含む(別表記載)
呼吸器感作性又は：	
皮膚感作性：	GHS分類に該当する物質を含む(別表記載)
生殖細胞変異原性：	GHS分類に該当する物質を含む(別表記載)
発がん性：	GHS分類に該当する物質を含む(別表記載)
生殖毒性：	GHS分類に該当する物質を含む(別表記載)
特定標的臓器／全身毒性：	
(単回ばく露)：	GHS分類に該当する物質を含む(別表記載)
特定標的臓器／全身毒性：	
(反復ばく露)：	GHS分類に該当する物質を含む(別表記載)
吸引呼吸器有害性：	GHS分類に該当する物質を含む(別表記載)

12. 環境影響情報

生態毒性	
水生環境有害性（急性）	： GHS分類に該当する物質を含む(別表記載)
水生環境有害性（長期間）	： GHS分類に該当する物質を含む(別表記載)
残留性・分解性	： 製品としてはデータなし
生体蓄積性	： 製品としてはデータなし
土壌中の移動	： 製品としてはデータなし
その他の有害影響：	
(オゾン層への有害性)	GHS分類に該当する物質を含まない又は不明(別表記載)

13. 廃棄上の注意

- 取扱い及び保管上の注意の項の記載による他、可燃性液体に関する一般的な注意による。
- ・珪藻土等に吸収させて開放型の焼却炉で少量ずつ焼却する。
 - ・「廃棄物の処理並びに清掃に関する法」等に従って処理及び廃棄を行うか、又は許可を受けた産業廃棄物処理業者に委託して処分する。

1 4. 輸送上の注意

国連番号	: 1 1 3 3
品名	: 接着剤 (引火性)
国連分類	: クラス 3 / 引火性液体
容器等級	: II
指針番号	: 1 2 8
海洋汚染物質	:
国内規制	:
陸上輸送	: 消防法、労働安全衛生法等に定められている運送方法に従う。
海上輸送	: 船舶安全法に定められている運送方法に従う。
航空輸送	: 航空法に定められている運送方法に従う。
注意事項	: 取扱い及び保管上の注意の項の記載に従うこと。 容器に破損、漏れがないことを確かめ、転倒、落下、損傷のないように積み込み、荷崩れ防止を確実にを行うこと。「火気厳禁」「天地無用」

1 5. 適用法令

消防法	: 危険物 第2類 引火性固体 (指定数量1,000kg)
化管法 (P R T R法)	: トルエン 第1種300号
労働安全衛生法	: 名称通知 / ・シクロヘキサノン ・メチルイソブチルケトン ・トルエン ・シリカ 名称表示 / ・シクロヘキサノン ・メチルイソブチルケトン ・トルエン ・シリカ 有機則 / ・シクロヘキサノン 第2種25号 ・トルエン 第2種37号 特化則 / ・メチルイソブチルケトン 第2類33の2

1 6. その他の情報

引用文献: GHS分類結果データベース (独立行政法人製品評価技術基盤機構)
各種原材料SDS

NITE 化学物質総合情報提供システム 他

注意事項: 危険、有害性の評価は必ずしも充分ではないので、取扱いには充分注意して下さい。

この安全データシートは当社の製品を適正にご使用いただくために必要で、注意しなければならない事項を簡潔にまとめたもので、通常の実用を対象としたものです。

ここに記載された内容は、現時点での最善の知見に基づくものですが、情報の正確さ、安全性を保証するものではありません。また、全ての化学品には未知の有害性が考えられる為、取扱いには細心の注意が必要です。

ご使用の際は、この安全データシートをご参照の上、使用者の責任において適切な使用条件を設定くださるようお願い申し上げます。

この安全データシートは法令の改正、及び新しい知見に基づいて改訂されることがあります。

別表：単一物質ごとのGHS分類の各区分

		シクロヘキサノン	メチルイソブチルケトン	トルエン
急性毒性 (基本的にラット)	経口	区分4	区分外	区分外
	LD50 (mg/kg)	1,544	---	---
	経皮	区分3	区分外	区分外
	LD50 (mg/L)	947	---	---
	吸入：気体	分類対象外	分類対象外	分類対象外
	LC50 (ppm)	---	---	---
	吸入：蒸気	区分3	区分3	区分4
	LD50 (mg/L)	9.8	8.2	3319ppmV
	吸入：粉塵、ミスト	区分外	分類できない	分類できない
LD50 (mg/L)	---	---	---	
皮膚腐食性/刺激性		区分2	区分外	区分2
眼に対する重篤な損傷/眼刺激性		区分2A	区分2B	区分2B
呼吸器感作性		分類できない	分類できない	分類できない
皮膚感作性		区分1	区分外	区分外
生殖細胞変異原性		区分2	区分外	区分外
発がん性		区分外	区分2	分類できない
生殖毒性		区分2	区分外	区分1A、追加区分
標的臓器／全身毒性	単回ばく露	区分1 (呼吸器系) 区分2 (中枢神経系) 区分3 (麻酔作用)	区分3 (気道刺激性、麻酔作用)	区分1 (中枢神経系)、 区分3 (気道刺激性、麻酔作用)
	反復ばく露	区分1 (中枢神経系、骨)	区分1 (神経系)	区分1 (中枢神経系、腎臓)
吸引呼吸器有害性		分類できない	分類できない	区分1
環境有害性	水生環境有害性 (急性)	区分外	区分外	区分2
	水生環境有害性 (長期性)	区分外	区分外	区分3
	オゾン層への有害性	分類できない	分類できない	分類できない